

ラクリオ・ラクレスト介助ブレーキ 取扱い説明書

●使用前の点検

介助ブレーキレバーを操作し、ブレーキがかかる事を確認してください。

●使用方法

介助ブレーキレバーを握るとブレーキがかかり、離すとブレーキが解除され走行可能となります。

介助ブレーキレバーは左右同時に均等な力で操作してください。

※ゆるい下り坂や、スロープを下がる時など介助者が車いすを減速する時に
ご使用ください。

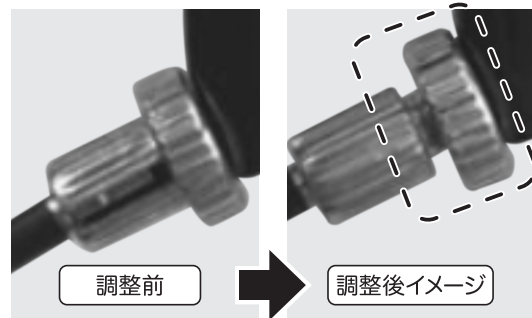
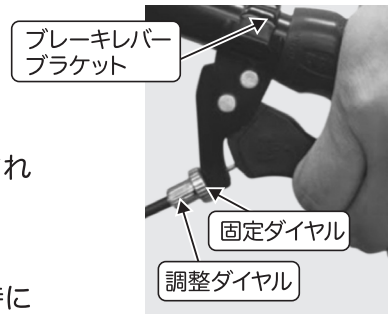
※通常の車いすよりも重量がありますので、介助ブレーキ
を使用する際も後ろ向きにゆっくり下りてください。

※ブレーキが効きにくくなった場合はブレーキレバー手元
のダイヤルにより調節できます。

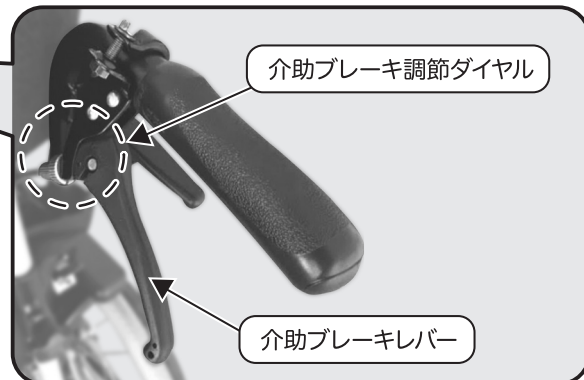
(1)固定ダイヤルを緩める。

(2)調整ダイヤルを緩めながら、介助ブレーキレバーの
握りシロを確認する。

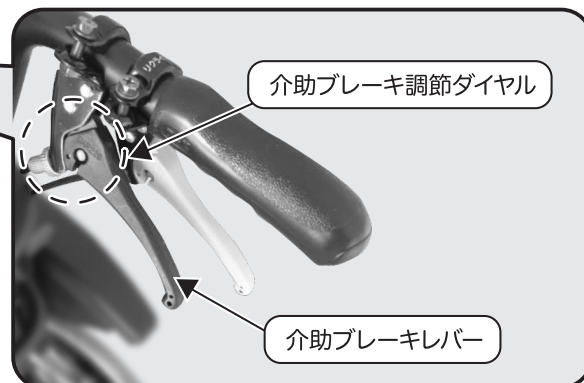
(3)ブレーキの効きを確認したら、固定ダイヤルをブレーキレバーブラケット側へ締め切り固定する。



●ラクリオ



●ラクレスト



- 急ブレーキをかけないでください。
車いすに乗っている方が前方へ転倒する恐れがあります。
- ドラムブレーキ部分には油が付かないように注意してください。
介助ブレーキの効きが悪くなる原因となります。

プロフィットケア

座位保持自走型車いす

ラクリオ PR-1000

取扱説明書 保証書付き

このたびは、ハビナス「ラクリオ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。ご使用前に、この説明書をよくお読みいただき、内容をよく理解された上で正しくお使いいただきますようお願いいたします。







目次

1. 安全にお使いいただくために	2	6. お手入れの方法	14
2. おもな機能と特長	4	7. 保管方法	14
3. 各部の名称	5	8. 仕様	15
4. 使用方法	6	9. アフターサービス	15
5. 使用前の点検	13	保証書	16

1. 安全にお使いいただくために



ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用者および他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の大きさと危険の程度によって「警告」「注意」「禁止」「指示」に区分しています。

 <h2>警告</h2> <p>誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が予想される内容を示しています。</p>	 <h2>注意</h2> <p>誤った取扱いをすると、人が傷を負ったり、物的損害が想定される内容を示します。</p>	 <h2>禁止</h2> <p>製品使用上、禁止とする行為を示します。</p>
 <h2>指示</h2> <p>製品使用上、必ず行っていたきたい行為を示します。</p>		



次の点は安全にお使いいただくために必ずお守りください。

操作・走行上の注意

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は1人用に設計されています。2人以上で使用しないでください。 ※最大使用者体重（積載物含む）は100kgです。 ●スピードを出さないでください。 スピードが出ている時の急カーブ・急ブレーキは、転倒の恐れがあり大変危険です。 ●走行中に駐車ブレーキを使用しないでください。転倒の恐れがあります。 ●バックしながら、急停止しないでください。転倒の恐れがあります。 ●座面以外の部分に腰をかけないでください。 ●走行中は、身体を乗り出さないでください。走行の安定を損ない危険です。 ●アームサポートやフットサポートなどを持って車いすを持ち上げないでください。 ●車輪に体の一部や物を差し込まないでください。手や指を挟み、ケガをする恐れがあります。 ●階段、エスカレーター、段差のあるところや、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では走行しないでください。 ●凸凹のある場所では、前かがみ姿勢で使用しないでください。バランスを崩し転倒する恐れがあります。 ●台車の代わりにするなど、使用者の移動目的以外での使用はしないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●ご使用中に、異常を感じたらすぐにご使用を中止してください。 ●急な下り坂で介助する時は、後ろ向きにゆっくり下りてください。 ●坂道の走行には介助者を伴い走行してください。 ●走行中は、足を必ずフットサポートの上に乗せて走行してください。 ●階段、踏切を横断する際の溝や踏み切りの路線による落輪、歩道の段差での転落には十分注意してください。 ●認知症の方の場合は、部品などを飲み込むことが考えられますので十分注意してください。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●車いすを火気に近づけないでください。ヤケド・火災・故障の原因になります。 ●タイヤを持って車輪を操作しないでください。駐車用ブレーキに指を挟み危険です。 ●介助者は、車いすに乗って介助しないでください。 ●車いすが不安定になる為、背面フレームや手押しハンドルに重い物を引っ掛けしないでください。 ●車いすを開く際、手や指を挟む恐れがある為、座面シート端のパイプを握らないでください。 ●アームサポートを跳ね上げた状態で、アームサポートに力を掛けしないでください。破損の原因になります。 ●タイヤを持って車いすを操作しないでください。ブレーキに手が当たり、ケガをする恐れがあります。 ●スピードが出ている状態で、素手でハンドルリムを持って減速しないでください。 摩擦で手にケガをする恐れがあります。 ●使用者の体格や座位姿勢によってサイドガードが外側に広がってしまう場合は使用しないでください。
 指示	<ul style="list-style-type: none"> ●回転している駆動輪に指を挟まないように注意してください。 ●夜間や雨天時には、通行者や車から発見しにくくなりますので十分注意してください。 ●フット・レッグサポートを取り付けた際には、確実に固定されていることを確認してください。 ●フット・レッグサポートを開いたり、取り外しを行う際は、手や指を挟まないように注意してください。

停止時の注意

警告



指示

- 停止時は、必ず両駆動輪に駐車ブレーキを掛けてください。駐車ブレーキを掛け忘れると、車いすが動きだし、衝突や使用者の転倒事故につながる恐れがあります。
- 車いすを横倒しなどした状態で、上に物を載せないでください。フレームが曲がり、故障の原因になります。

移乗時の注意

警告



禁止

- 移乗する時は、駐車ブレーキレバーに体重をかけないでください。
- フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。
- 車いすのシート上で立ち上がらないでください。



指示

- 移乗する時は、必ず両駆動輪に駐車ブレーキを掛けてください。
- 移乗する時は、フットサポートを跳ね上げてから行ってください。また、跳ね上げたフットサポートに足が当たらないよう注意してください。
- 移乗や駐車は平坦な場所で行ってください。

段差乗り越えの注意

注意



禁止

- 無理な力による段差乗り越えはフレームの破損につながりますのでおやめください。足元のティッピングレバーに足を当て、前方に押し出しながら、手押しハンドルを手前に引くようにして、前輪キャストを段差の上へ上げてください。
- スピードをつけて、段差を乗り越えないようにしないでください。使用者が転落して、事故の原因になります。



指示

- 使用者を乗せたまま車いすを持ち上げるときは、2人以上で行い使用者の上半身を支え、シートより下のフレームを両側からしっかり持ってください。

保守・点検の注意

警告



禁止

- 改造・分解はしないでください。強度や耐久性が低下して危険です。
- 故障・異常があるときは、事故や転倒の恐れがある為、使用しないでください。



指示

- 駐車ブレーキの性能を維持するため、空気圧の確認を行ってください。
- 使用する前に後車輪、前輪キャスト、駐車ブレーキなどのねじを点検し、ゆるんでいるときは増し締めをしてください。
- 車いすに水がかかった場合は、直ちに拭き取ってください。
- 各部を調整するときは、平坦な場所で行ってください。
- 面ファスナーについた糸くずや汚れを取り除いてください。接着力が弱くなる恐れがあります。
- 車いすを自動車に載せたり、下ろす際は、大きな衝撃を与えないよう、ゆっくり降ろしてください。車いすの破損や故障の原因になります。

2. おもな機能と特長

■シートの角度を変えることで、くつろげる座位姿勢がとれる車いすです。

- シートのティルト角度を4~18度まで自由に設定できます。

シートの角度を変えることで、前方への身体のスレを防止します。

- 背面フレームの高さ調節とバックシートの張り調節ができます。

使用者の姿勢・体格に合わせて調整できます。

■車いすへの移乗がスムーズにできます。

- 跳ね上げ式アームサポート。

アームサポートを跳ね上げることにより、スムーズに移乗ができます。

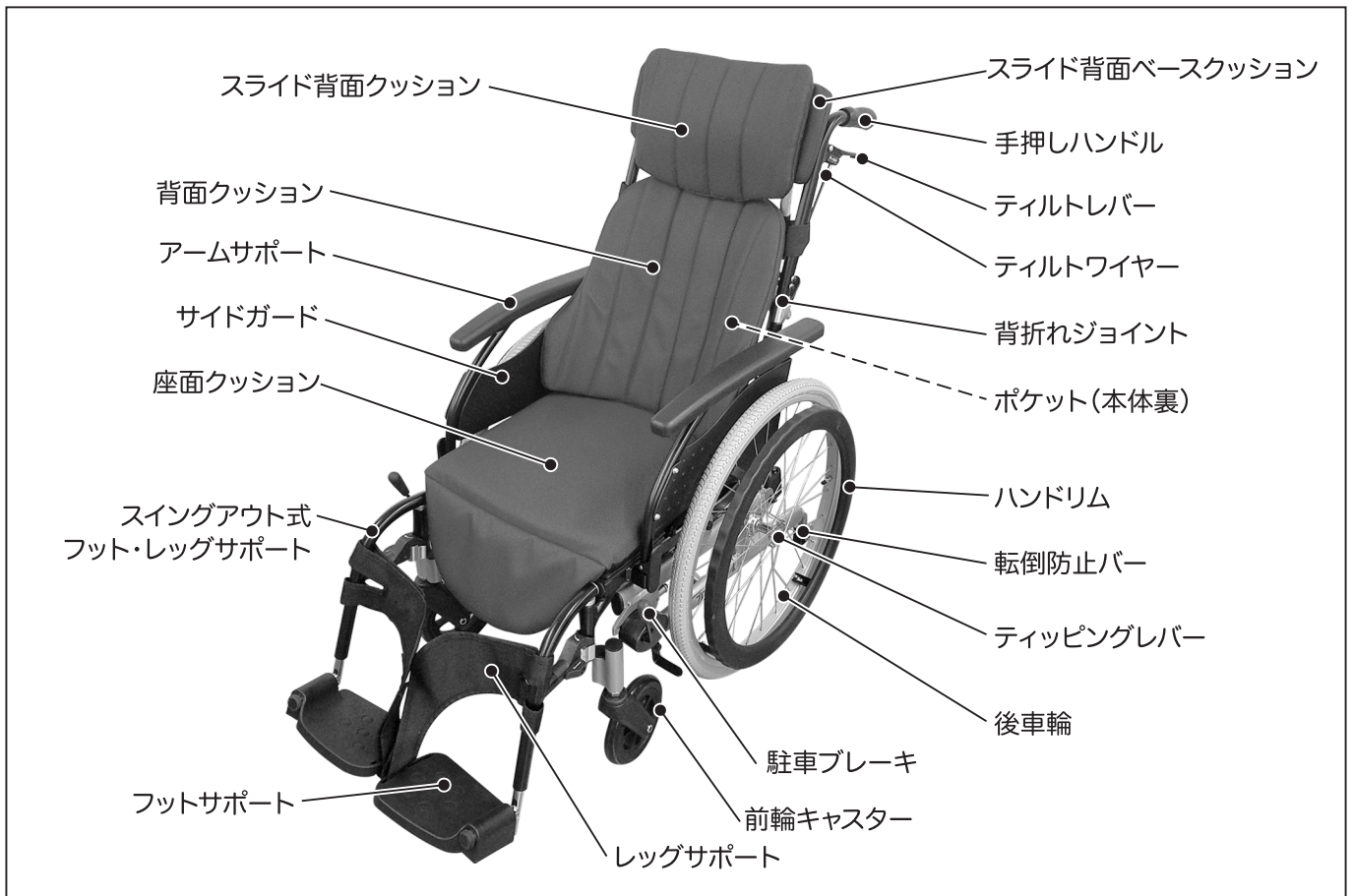
- スイングアウト式フット・レッグサポート。

フット・レッグサポートが開くことにより、ベッド・椅子などに近づくことができます。

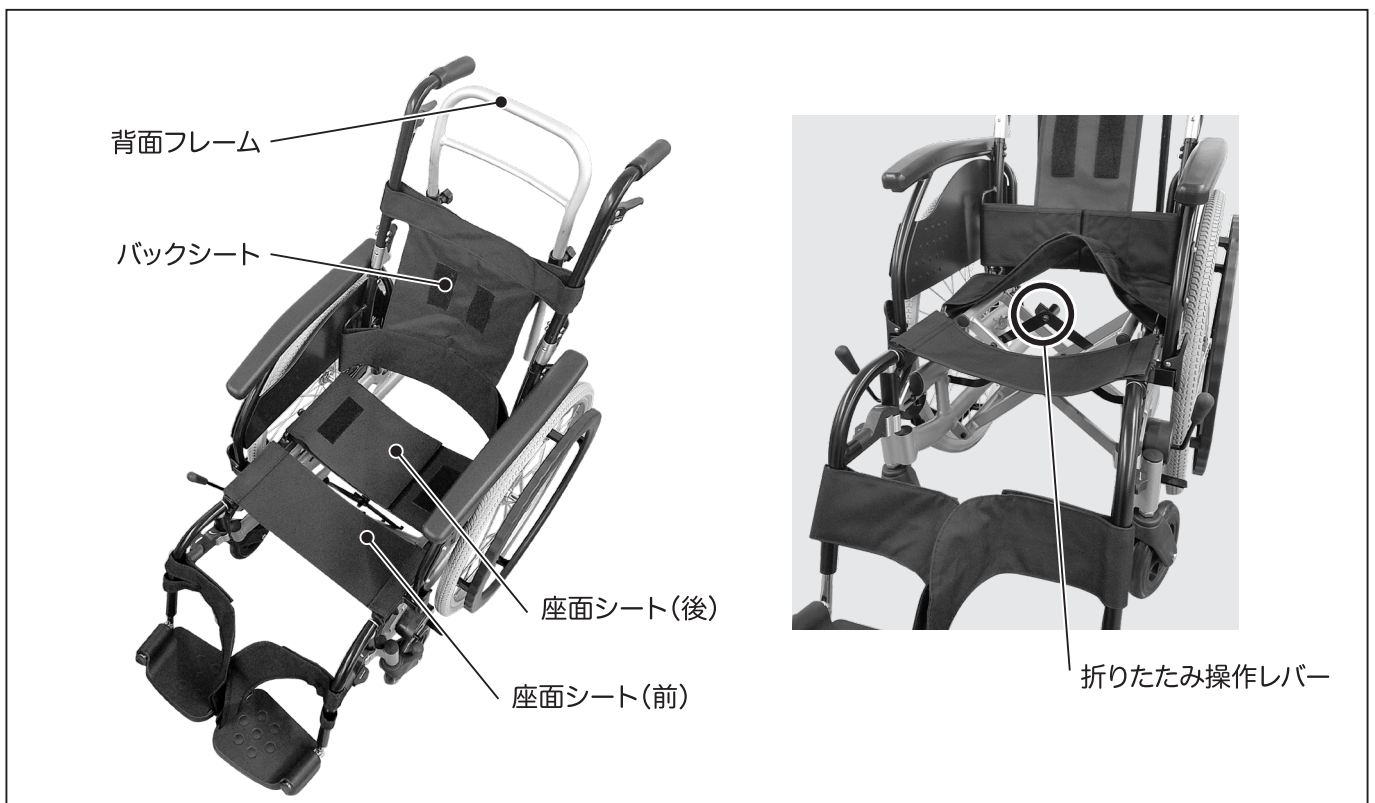
また、フット・レッグサポートは取り外すことができます。

3. 各部の名称

クッション取り付け時



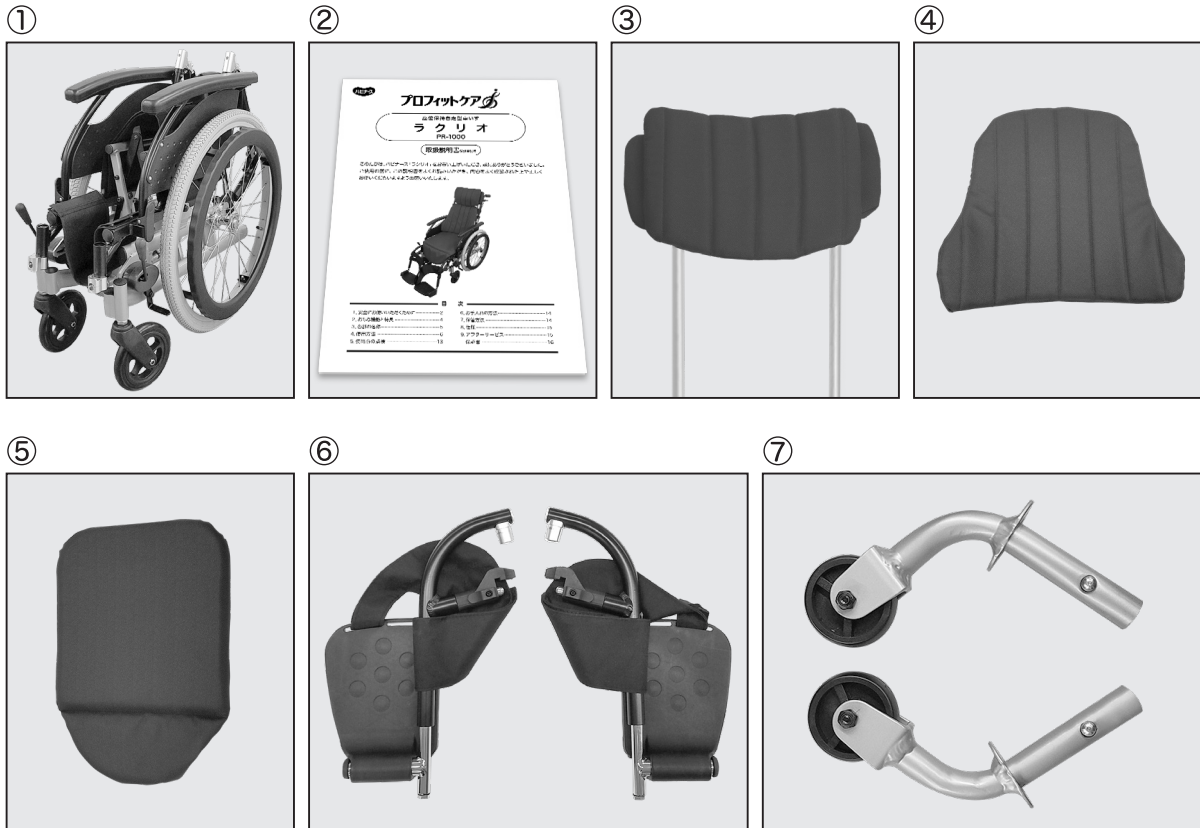
クッション取り外し時



4. 使用方法

以下①～⑧があることをご確認ください。

- ①製品本体 ②取扱説明書(本書) ③背面フレーム、スライド背面ベースクッション、スライド背面クッション
④背面クッション ⑤座面クッション ⑥フット・レッグサポート:左右 ⑦転倒防止バー:左右

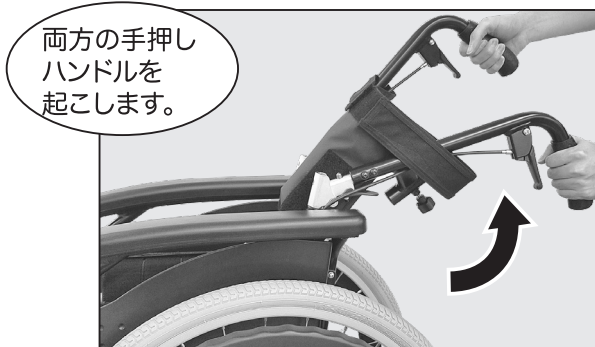


1) 手押しハンドルの起こし方

車いすのシートを広げる前に、手押しハンドルを起こします。

手押しハンドルは最後まで起こしますと自動的にロックされます。

ワイヤーやシートなどを背折れジョイントにはさみ込まないように注意してください。



2) 手押しハンドルのたたみ方

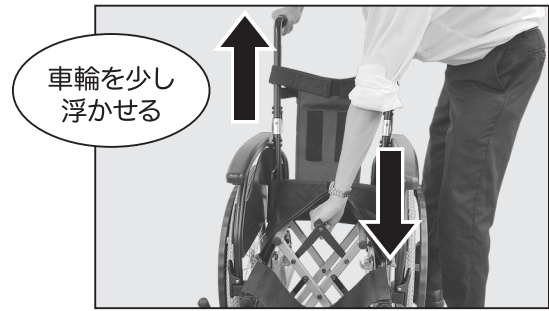
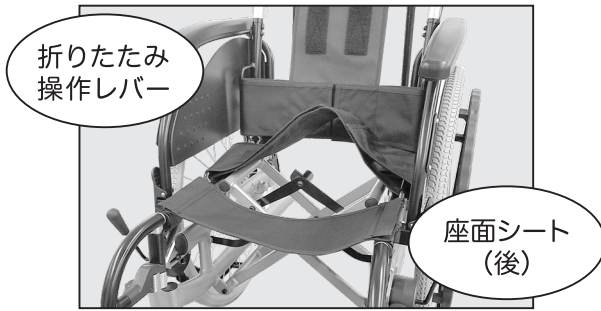
手押しハンドルを握り、一方の手で背折れジョイントのレバーを引きながら手押しハンドルをたおします。



- ⊘ 手押しハンドルを起こす・たたむ操作は、使用者が乗った状態では絶対に行わないでください。背折れジョイントで身体または身体の一部や、衣服をはさんでケガをしたり、衣服が破損する恐れがあります。

3) シートの開き方

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P.8_5) 参照
- ②片側の車輪を浮かせながら、折りたたみ操作レバーを握り、下方に押し下げます。



注意 ⚠️ 折りたたみ操作レバーを完全に押し下げ、本体がきちんと開いていることを確認してください。

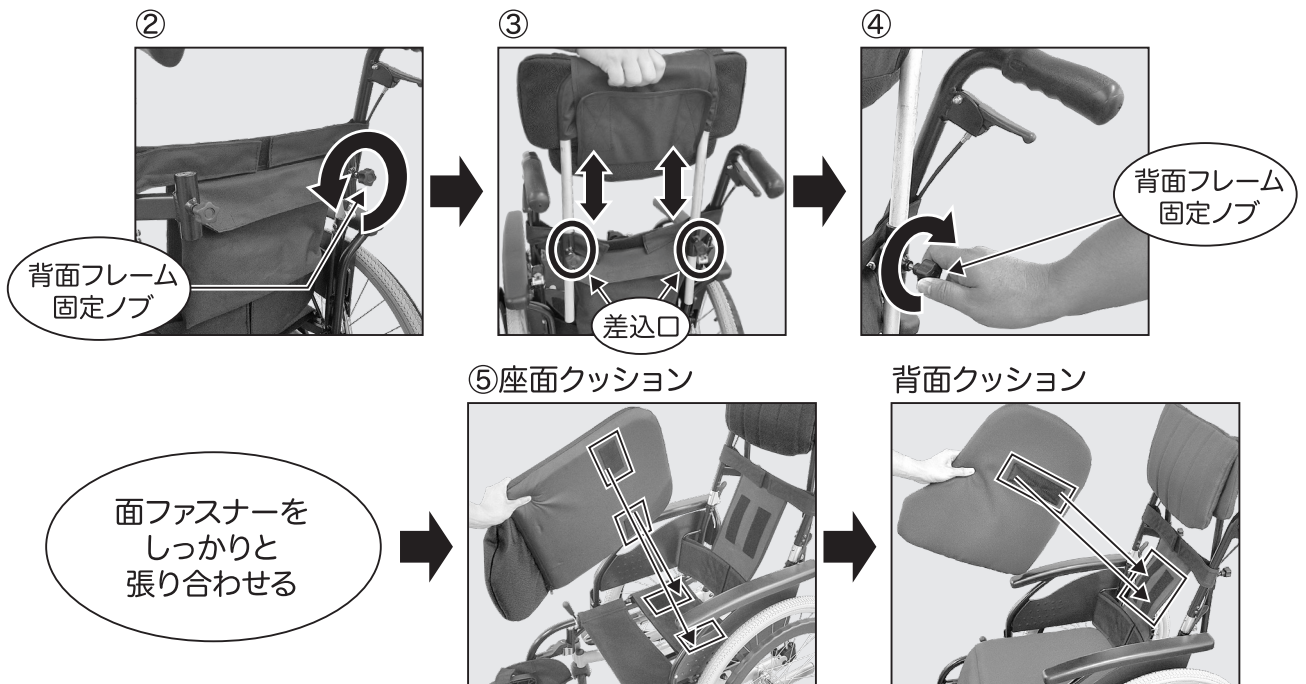


注意 ⚠️ ❌ シート端のパイプを握って押し下げないでください。手をはさみ危険です。

4) 背面フレームの高さ調節、座面クッション、背面クッションの取り付け

本製品は背面フレーム、各クッションを製品本体から取り外した状態で出荷しております。背面フレーム、各クッションを以下の手順で正しく組み立ててください。

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P.8_7) 参照
- ②背面フレーム固定用ノブを緩めます。
- ③背面フレームを差し込み任意の位置に高さを合わせます。
- ④背面フレームを持ちながら、背面フレーム固定用ノブを締め付けて固定します。
※背面フレームにガタつきがなく、しっかり固定されていることを確認してください。
- ⑤座面クッションおよび背面クッションを製品本体の面ファスナーの位置に合わせ、取り付けてください。



5) 背面フレームの取り外し方

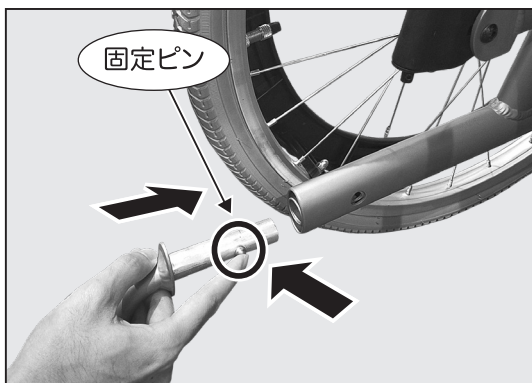
取り付けと逆の手順で背面フレーム固定ノブを緩め、背面フレームを上を持ち上げて製品本体から取り外します。



⊘ 使用者が乗っている状態で背面フレームを取り外さないでください。

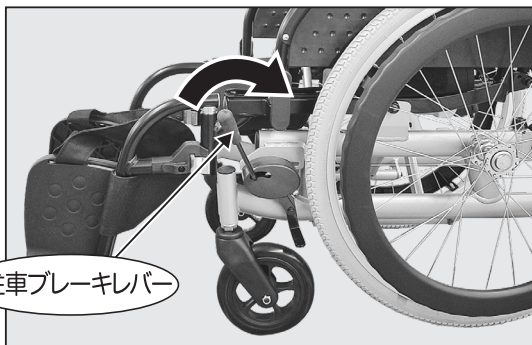
6) 転倒防止バーの取付け (取り外し)

- ①両輪の駐車ブレーキを掛けてください。※P8_7)参照
- ②転倒防止バーの固定ピンを押し込みながら、ティッピングレバーに、転倒防止バーをまっすぐ差し込みます。
- ③フレームの穴部に固定ピンがはまり、固定されたことを確認してください。
- ④取り外す場合、固定ピンを押し込み、転倒防止バーをまっすぐ引き抜いてください。



7) 駐車ブレーキの掛け方、解除の方法

駐車ブレーキレバーを矢印の方向に引くとブレーキが掛かり、もどすと解除されます。



⚠ 停止時は、必ず両輪に駐車ブレーキを掛けてください。



⚠ 駐車ブレーキレバーの操作は、駐車ブレーキレバーが止まる位置まで確実に行ってください。



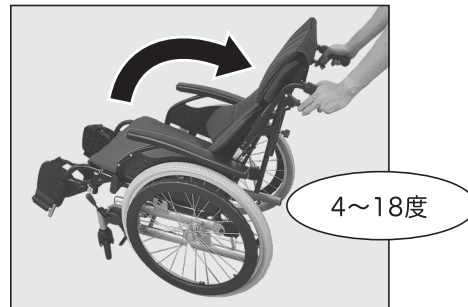
⚠ 移乗や駐車の際は水平で平坦な場所で行ってください。



⚠ 駆動輪の空気圧が低すぎると駐車ブレーキの効が悪くなります。目安として、タイヤを手で押してやや硬い程度に空気を入れてください。
※適正空気圧 300kPa (3.0kgf/cm²)

8) ティルト角度調整方法

- ①手押しハンドルにあるティルトレバーを左右同時に握ると、座面と背面の固定が解除され、4～18度の間で角度の調節ができます。
- ②左右のティルトレバーの握りを戻すと、座面と背面が固定されます。



注意

⚠ ティルトレバーの操作は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから行ってください。



注意

⚠ 使用者の手や腕がアームサポートより外に出ていないことを十分に確認してください。



注意

⚠ ティルトレバーは左右同時に握って操作してください。故障の原因になります。



注意

⚠ 使用者を乗せてティルト角度調整をする時は、使用者を驚かせないために、介助者は「たおします」「起こします」と操作の前に一声かけてから行ってください。

9) 跳ね上げ式アームサポートの取り扱い方法

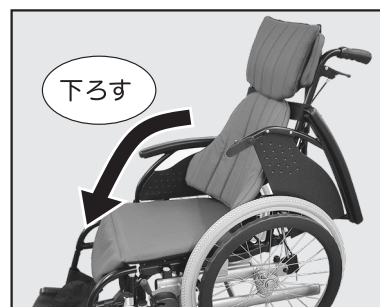
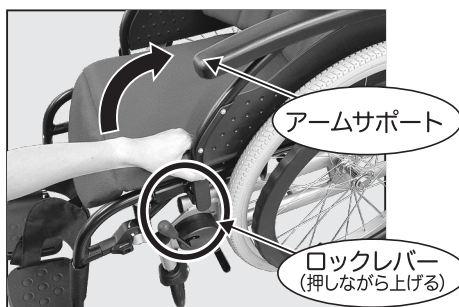
アームサポートを跳ね上げることで、横からの移乗が容易に行えます。

①アームサポートの跳ね上げ

ロックレバーを押しながらアームサポートを跳ね上げます。

②アームサポートの取り付け

アームサポートを下ろし、ロックレバーが引っ掛かり、しっかりと固定されるまで下ろします。



注意

⚠ アームサポートを下ろす際は、身体や衣服をはさまないように注意してください。



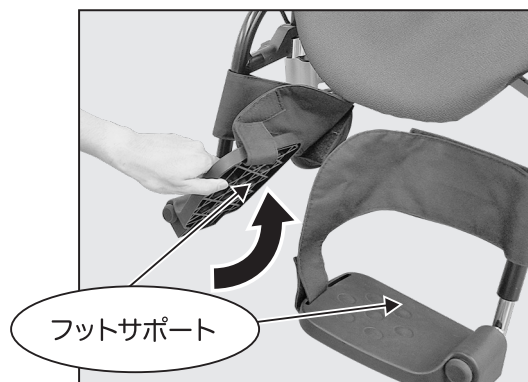
注意

⚠ アームサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

⊘ アームサポートを持って車いすを持ち上げないでください。

10) フットサポートの取り扱い方法

フットサポートは、手動で簡単に外側に跳ね上げることができます。
移乗時や介助のさまたげになる時は跳ね上げてください。

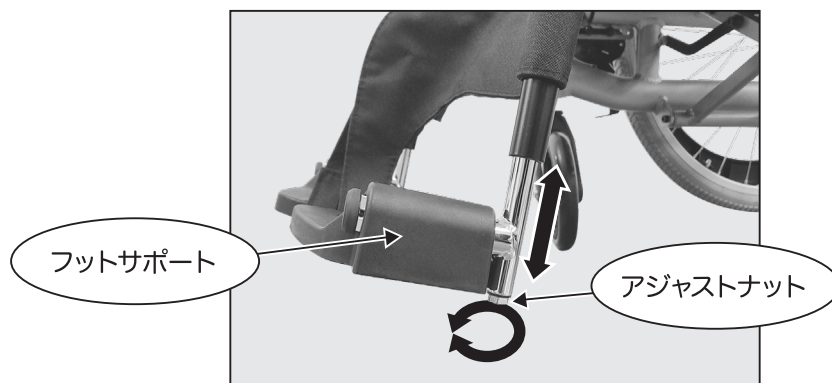


注意

- ① フットサポートの上に乗って、車いすに乗り込んだり、立ち上がらないでください。

11) フットサポートの高さ調節

- ①アジャストナットをスパナ (13mm) で緩め、フットサポートを上下させて使用者の足位置に合わせます。
- ②位置が決まったら、アジャストナットを締め込み固定します。



注意

- ⚠ フットサポート高さは、床から5cm以上あげてください。
車いすを走行させる時に障害物にぶつかる恐れがあります。



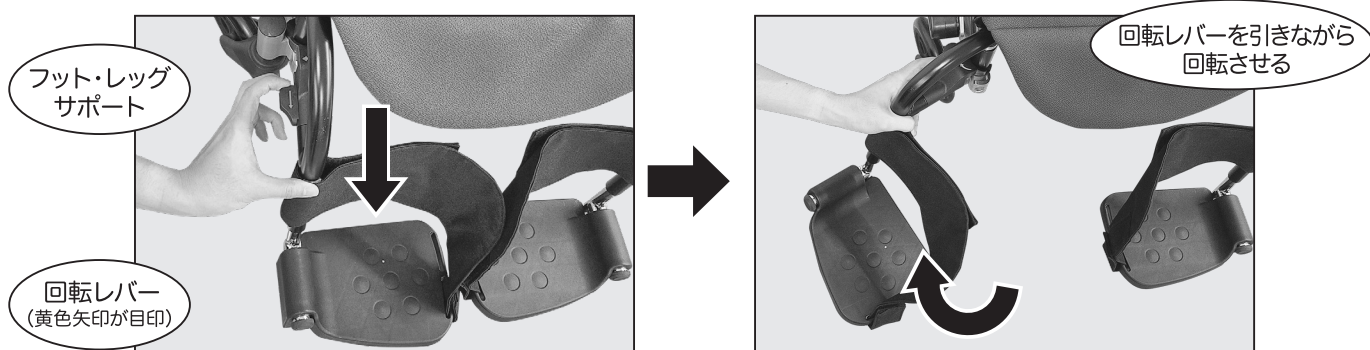
注意

- ⚠ アジャストナットは確実に締め付けてください。

12) スイングアウト式フット・レッグサポートの取り扱い方法

フット・レッグサポートを開くことで、ベッド・椅子などに近づくことができます。

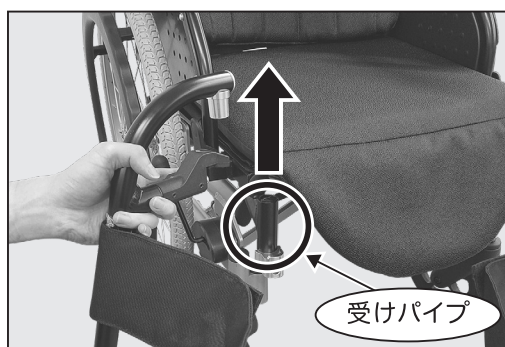
①回転レバーを引きながら、フット・レッグサポートを外側に回転させ開きます。



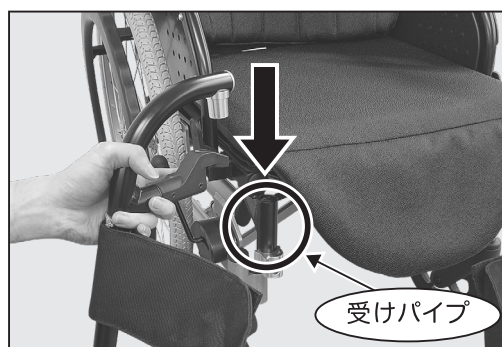
②取り外しは、フット・レッグサポートを外側に回転させた状態で上方に引き上げます。

③取り付けは、逆の手順で、フット・レッグサポートを受けパイプにはめ込み、内側に回転させます。

取り外し



取り付け



注意

- ⚠ フット・レッグサポートの回転、取り外し、取り付けは、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けた状態で行ってください。
- ⚠ フット・レッグサポートを取り付けた後は、必ず固定されたことを確認してください。

13) 調整シートの調整方法

使用者の体形に合わせて、バックシート(上下2カ所)の張りを調整できます。

①使用者の体形や使いやすいポジションに合わせて、バックシートの長さを調節します。

②バックシート面ファスナー部分をしっかり固定します。

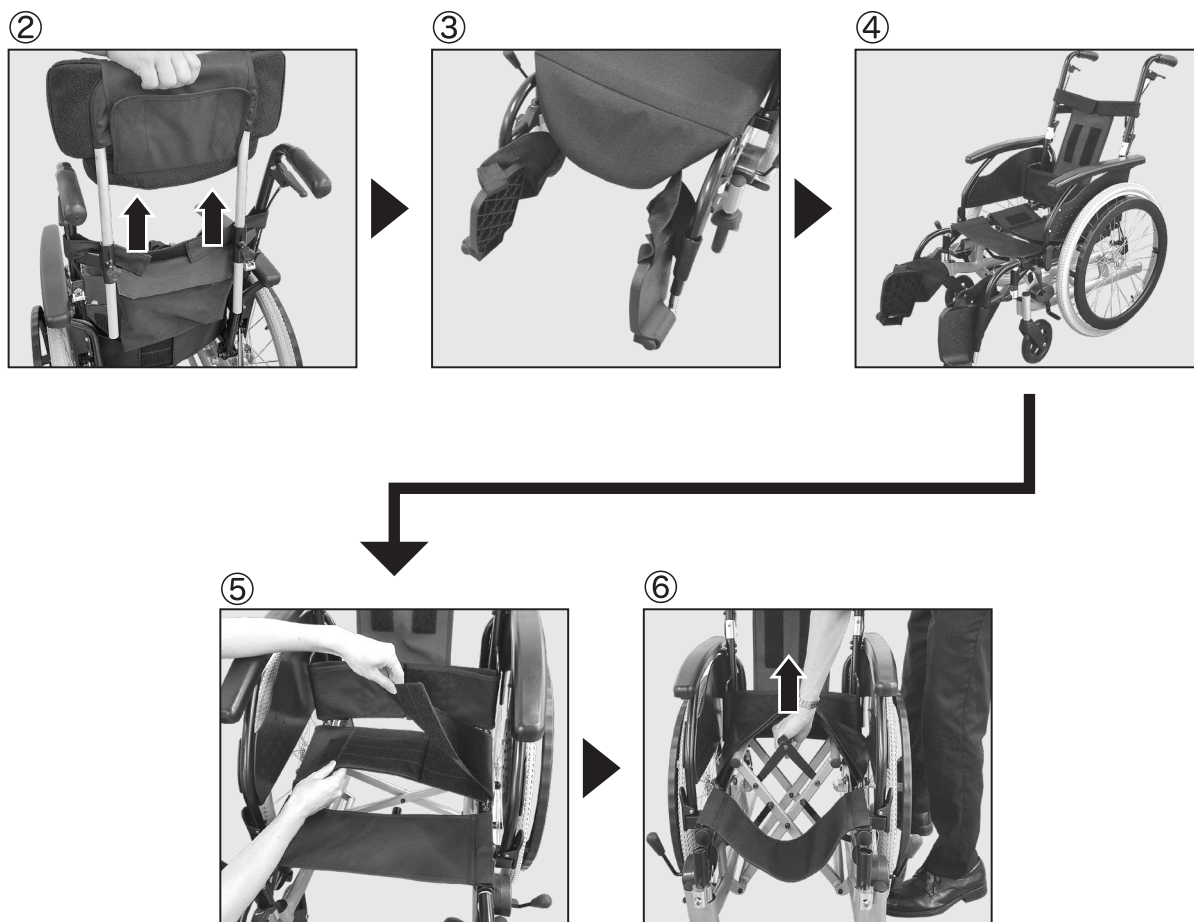


注意

- ⚠ バックシートの調整は、必ず両輪の駐車ブレーキを掛けてから行ってください。

14) シートのたたみ方

- ① 両輪の駐車ブレーキを掛けてください。 ※P8_7) 参照
- ② 背面フレーム固定用ノブを緩めて、背面フレームを取り外します。 ※P7~8 4)~5) 参照
- ③ フットサポートを左右両方とも跳ね上げます。 ※P9_9) 参照
- ④ 各クッションをすべて取り外します。
- ⑤ 座面シート（前）を緩めます。
- ⑥ 座面シート下の折りたたみ操作レバーを握り、上方に持ち上げシートをたたみます。



5. 使用前の点検

使用前に以下の点検を必ず行ってください。

点検を行い作動不良や今までと違う異音やガタつきがあった際には、ご使用を中止し、お買い上げの販売店、またはピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

① 駆動輪の空気圧の確認

駐車ブレーキの性能を維持するため、空気圧の確認を行ってください。

適正空気圧 300kPa(3.0kgf/cm²)

② 駐車ブレーキの作動確認

駐車ブレーキレバーを操作し、駐車ブレーキが掛かる事を確認してください。



注意



駆動輪の空気圧が低いと駐車ブレーキが掛からない場合や、駐車ブレーキの掛かりが悪くなる場合があります。空気圧はこまめに点検・調整してください。

③ 背折れジョイントが固定されていることの確認

- 1) 背折れジョイントがロックされていること、手押しハンドルが固定されていることを確認してください。
- 2) 左右のティルトレバーを同時に握り、放したとき手押しハンドルが固定されていることを確認ください。

④ 可動部分の確認

前輪キャスター、後車輪、ブレーキ、本体フレームなどのガタつき、ねじの緩みのないことを確認してください。ねじが緩んでいるとねじが脱落し、事故につながる恐れがあります。

⑤ 消耗品、交換部品の確認

それぞれの部品が交換時期になった時は、早めに交換してください。

新しい部品に交換する際は、お買い上げの販売店又は、ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。

消耗品・交換部品

部 品 名	交 換 時 期
駆 動 輪	タイヤ表面の溝がなくなった時。表面がひび割れた時。
前 輪 キ ャ ス タ ー	しっかり取り付けていてもガタガタする時。表面がひび割れた時。
スライド背面クッション	ほつれ、切れ目が発生した時。ひどく汚れた時。
スライド背面ベースクッション	
背 面 ク ッ シ ョ ン	
座 面 ク ッ シ ョ ン	破損、たるみが発生した時。
座 面 シ ー ト (前、後)	
バ ッ ク シ ー ト	
テ ィ ル ト ワ イ ヤ ー	ワイヤーにほつれ、サビが発生した時。



注意



交換時期を過ぎての使用は、転落、転倒、衝突などの事故につながる恐れがあります。それぞれの部品が交換時期になった時は、お早めに交換してください。

6. お手入れの方法

①本体フレームのお手入れ

- 1) フレーム汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
拭き取った後は乾いた布で水分を取り除いてください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。



注意

- ⊘ ●車いす本体の水洗いはおやめください。動作部の油が流れ落ち、動作に支障をきたす恐れがあります。
- 熱湯やオゾンで洗淨しないでください。製品を傷める恐れがあります。
- シンナーやベンジンなどの揮発性溶剤は使用しないでください。
製品を傷める恐れがあります。
- たわし、みがき粉および硬いブラシは使用しないでください。
製品を傷める恐れがあります。

②樹脂(プラスチック)部のお手入れ

- 1) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。
- 2) 水などがかった場合は、乾いた布で水分を取り除いてください。

③各種クッションなどのお手入れ

- 1) 背面クッション(上)、背面クッション(下)、座面シートクッションは洗濯をしないでください。
- 2) 汚れは、中性洗剤を含ませたタオルかスポンジで拭き取ってください。



注意

- ⊘ 樹脂部やクッションを消毒用アルコール、有機溶剤、塩素系洗剤などで拭きますと変色、劣化の恐れがありますので、おやめください。

④走行性の確認

まっすぐ進まない場合、どこかが歪んでいる可能性があります。
お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ(株)へお問い合わせください。

⑤シートの確認

車いすは湿気に弱いので、雨でぬれる場所などに放置したり、長時間続けてご使用になるとシートに破損、たるみが発生します。適度な座り心地が保ちにくくなりますので、たるみ、破損が著しい場合は交換をおすすめします。

7. 保管方法

- ①収納スペースが少ないときは背面フレームを取り外し、車いすをたたんで保管してください。
- ②製品の劣化をさけるため直射日光が当たる場所、雨や水のかかる場所、ホコリの多い場所を避けた室内に保管してください。
- ③錆やタイヤのパンクを避けるため、湿気が多い場所や室温が著しく高い場所(50℃以上)には保管しないでください。

8. 仕様

項 目		仕 様
材 質	フレーム	アルミ
	シート、クッション(表地)	ポリエステル
	クッション(中材)	ウレタンフォーム
寸 法	全 長	1080mm
	全 幅	600mm
	全 高	980mm
	座 面 幅	400mm
	座 面 奥 行	400mm
	前 座 高	435mm ※クッション含む
	後 座 高	410mm ※クッション含む
	アームサポート高	235mm ※クッション含む
	後 輪 × 前 輪	22インチ/6インチ
最大許容体重		100kg
重 量		19.8kg

※製品は、品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

9. アフターサービス

この製品についてのお問い合わせ

ご意見、ご質問は、お買い上げの販売店またはピジョンタヒラ㈱、ピジョン㈱お客様相談室までお問い合わせください。

修理を依頼されるには

お買い上げの販売店に、この製品の品名、製造番号(シリアル番号)、および故障状況をくわしくご連絡の上、お申しつけください。転居、贈答品などでお買い上げの販売店に修理を依頼することができない場合は、ピジョンタヒラ㈱またはピジョン㈱お客様相談室までお問い合わせください。

製品の保証について

- 1) 保証内容につきましては、次のページの保証書をご覧ください。
- 2) 保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。

ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは
<http://www.pigeontahira.co.jp>

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョンお客様相談室

TEL **0120-741-887**

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンホームページは
<https://pigeon.info/>

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室、までお問い合わせください。

保証規定

- 一度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保障期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理致します。ピジョンタヒラ(株)、ピジョン(株)お客様相談室までお問い合わせください。
ただし、キャスト・車輪の摩耗、シートの破れなど、交換時期となった消耗品・消耗部品は保証対象に含まれません。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - プラスチック・ゴム・木部品の自然劣化による変色。
 - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 有料修理の場合に要する発送運賃、消耗品の代金。
 - 縫製部品の傷や破れ。また洗濯による退色や収縮。
 - 本書は日本国内にのみ有効です。海外からの修理サービスはできません。
 - 製造中止後の製品については必要部品がなくなった場合、修理できない事があります。
- お買い上げ後、お買い上げ日、お客様名、販売店先をただちにご記入願います。
 - 万が一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。
本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保障期間経過後の修理についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、ピジョンタヒラ（株）、ピジョン（株）お客様相談室までお問い合わせください。

製品名	シリアル番号	保証期間
ハビナス ラクリオ		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
お客様	お名前	お買い上げ日 年 月
	ご住所 〒	TEL
販売店	店名	TEL
	住所 ※1	

※1 お買い上げ時のレシート添付でも有効

ピジョンタヒラ株式会社

〒103-0005 東京都中央区日本橋久松町4-4 ピジョンビル
ピジョンタヒラ(代表)

TEL **03-3661-4371**

ピジョンタヒラホームページは
<http://www.pigeontahira.co.jp>

ピジョン株式会社

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョンお客様相談室

TEL **0120-741-887**

受付時間 9時～17時(土・日・祝日を除く)

ピジョンホームページは
<https://pigeon.info/>